

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあつては名称) 岡山県広域水道企業団	住所	(法人にあつては主たる事業所の所在地) 〒709-0604 岡山市東区寺山650
----	---------------------------	----	--

本票作成	部署名：浄水課
------	---------

主たる業種	分類コード	36	業種名：水道業
-------	-------	----	---------

事業の概要	用水供給事業
-------	--------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	岡山浄水場	岡山市東区寺山650
	②	総社浄水場	総社市井尻野504-1
	③	賀陽第1中継ポンプ場	加賀郡吉備中央町岨谷2152-5
	④	総社第1中継ポンプ場	総社市槇谷2657
	⑤	山陽中継ポンプ場	赤磐市日古木523
	⑥	津山中継ポンプ場	津山市福田989-3

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 89 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 26 年度)	(平成 27)年度排出量	目標年度(平成 31 年度)
	14,435 t CO ₂	14,493 t CO ₂	14,036 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 27)年度排出量
	①	岡山浄水場	6,009 t CO ₂
	②	総社浄水場	2,159 t CO ₂
	③	賀陽第1中継ポンプ場	952 t CO ₂
	④	総社第1中継ポンプ場	911 t CO ₂
	⑤	山陽中継ポンプ場	888 t CO ₂
	⑥	津山中継ポンプ場	576 t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：	平成 27 年度 ～ 平成 31 年度 (5 箇年度)	
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(27)年度削減実績	目標削減率 目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	1.7 %	1.0 % <input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 企業団から構成団体への年間給水量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(27)年度	目標年度
		421 t CO ₂ /百万m ³	414 t CO ₂ /百万m ³	417 t CO ₂ /百万m ³

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 27 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成27年度、温室効果ガス排出量の削減実績が1.7%となり目標達成となったが、これは排出係数が下がったことによるものであり、電気使用量と年間給水量はともに前年比2%の増加である。よって、今後もさらなる削減へ向けて、取り組みを実施してまいりたい。

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理統括者を中心としたエネルギー管理体制のもと、エネルギー使用状況を確認している。
- ・各課所長が委員として組織する省エネ推進会議の開催と電気計装設備の更新にあわせた省エネ設備の検討
- ・各事業所の省エネ推進者による各施設の省エネルギー活動の推進及び課所員の意識向上。

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山浄水場、総社浄水場	(平成27年度実施分) ・クールビズ・ウォームビズ運動及びライトダウン等の取り組みを実施した。 ・夏季・冬季の省エネ対策として、冷暖房の設定を原則「夏季：28℃、冬季：20℃」とし、過度にならないようにしている。
岡山浄水場	(今後実施予定分) ・岡山浄水場の場内誘導灯を高効率照明器具（LED）へ更新する。 ・岡山浄水場の空調設備更新時に、より高効率型の機器を採用する。

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	無	
その他	無	

【その他特記事項】

- ・新設時から高効率の機器（変圧器、電動機等）、インバータを導入しており、省エネ診断を行っても大きく改善できる箇所はなかった。
- ・生産量（給水量）が増加した場合、電気使用量すなわち温室効果ガス排出量も比例して増加する。